

私たちの活動や意見を仲間  
で共有します。  
会費は県と日本平和委員会  
の活動も支えます。

# 土浦平和の会ニュース

2019年8月15日 第330号

発行：土浦平和の会

事務局：土浦市烏山2-530-296

HP://heiwatutiura.web.fc2.com/



## 夏の平和行事

# 2019「原爆と人間展」に1,449人 ピースデーに100人が来場

連日の猛暑の中、「2019原爆と人間展」(8/6~11)と「ピースデー」(8/10)の全プログラムが無事終了しました。

写真展には6日間で1,449人(昨年は1,375人)が来場、10日のピースデーの来場者数は午前・午後合わせて100人(昨年120人)でした。



くいているようにパネルを見つめる



アニメ「夏服の少女たち」  
ピースデーで上映

## 「広島で学んだこと生かしたい」 土浦市中学生平和使節団が報告

土浦市が毎年市内の全中学校から広島に派遣している土浦市平和使節団のうち5名が参加し、被爆地広島を視察した前後の心の変化、平和への熱い思い、将来への希望など語りました。



中学生平和使節団からの報告

### << 写真展来場者感想ノート >>より

■きょうは長崎に原爆が落とされた日。この日に原爆展をみる事ができて、核廃絶の新たな思いになりました。(土浦市)

■原子ばくだんをなくしてほしい。(小5)

■広島で市長と被爆者団体から核廃絶宣言へ署名するようにいわれても安倍首相はウンと言わなかった。こんな人間を総理大臣にしておくからイラン・ペルシヤ湾に自衛隊を派遣しろとUSAからおどされるのだ。次の国会で辞任させましょう。

■このパネル展はいつまでも続けていきたいと思いません。広島・長崎に行かなくてもこの写真や絵を見れば、悲しみや苦しみがわかるから。そして、戦争は絶対にしてはいけない！！

■いつみても、亡くなられた方々に祈る。この不安定な世を早く治めて、安らかに眠って下さるよう努力したい。今年は高校生の絵が印象的でした。

■戦争がこの世から消えることなく世界でも続いています。日本の過去も世界の過去も未来では大地が平和でありますように。頑張ってください。

(裏面に関連手記)

## 「茨城新聞」が取材、記事に

「茨城新聞」は8月8日付けで、「原爆の恐怖訴え、写真や絵画90点」の見出し、写真入り2段組で報じました。

記者からのインタビューに答えた実行委員の井上町子さんは「これからの未来を担う若い人たちに原爆の恐ろしさを知ってほしい」と訴えました。



「茨城新聞」8月8日付

# 選挙後ますます明白に

## 安倍改憲ノー！ 56%

### 安倍政権下の改憲反対が56%に (共同通信)

参院選の結果を受けて共同通信が実施した全国世論調査によると、安倍首相の下での憲法改正に「反対」との回答は56.0%で、「賛成」の32.2%を大きく上回りました。

### 望む政策、改憲はわずか3% (朝日新聞)

朝日新聞が参院選直後に実施した全国世論調査は、安倍首相に力を入れてほしい政策として、「年金などの社会保障」38%、「憲法改正」は3% (5択の最低) となっています。しかも、自民党に投票したと回答した人に限っても「憲法改正」はわずか4%です。

選挙後、安倍首相は「憲法改正について議論すべき」という国民の審判は下った」「総裁任期中に改憲を実現する」と述べていますが、国民世論は全く逆であることがますます鮮明になっています。



# 3000万人署名 憲法共同センターの 統一行動すすむ



土浦駅頭宣伝・署名、月一継続中

参院選で改選発議に必要な3分の2を割ったとは言え、安倍首相の改憲への執念は並々ならぬものがあります。選挙後の各種世論調査でも「安倍改憲ノー！」は多数です。署名をさらに積み上げ改憲の息の根を止めましょう。

- 6月行動 19日(水)午後3:00~
- 7月行動 25日(木)午後3:00~
- 8月行動 29日(木)午後3:00

9月行動日未定です。追ってご連絡いたします。

## 憲法ソング

### 「わたしのねがい」 動画配信中

日弁連のコンテストで大賞に輝いた土浦の尾池ひかりさん(小1で受賞)の詩(ニュースNo.323で紹介しました)にすてきな曲が付き、YouTubeで配信されています。「日弁連 わたしのねがい」で検索すれば簡単に見つかりますよ。

(作詞：尾池ひかり、作曲：谷川賢作、演奏:Di Va)

恒例の「原爆と人間展」は8月6日から11日まで県南生涯学習センターで開催されました。今回は原爆写真パネルに加え広島市基町高校の生徒たちが被爆者の助言を得て画いた原爆の絵34点も展示されました。高校生の画いた絵からは写真にもましてその悲惨さが伝わっており、訪れた人たちが見入っていました。

会場を訪れた人からは、「毎年このようなパネル展を催している皆さんに敬意を表します」、「この原爆展はずっと続けてほしい。広島、長崎に行かなくとも悲惨さが伝わってくる。戦争は絶対にしてはいけない」、「今日は長崎に原爆が落とされた日です。この展示を見て核兵器廃絶の思いを新たにしました」、「安倍首相はひどいね。広島、長崎市長や被爆者団体からの核兵器禁止条約への署名要請にウンと言わなかった。こんな首相をいつまで

### たたかひの決意新たに

近藤輝男(土浦平和の会事務局長)

### 今年も夏の平和行事 原爆展など多彩に

も続けさせていいのか」などの感想が寄せられました。折り鶴やヒバクシャ国際署名のコーナーでも、親子連れなど多くの人達が応じてくれました。

11日のピースデーでは、朗読、中学生広島平和使節団の報告、茨城県被団協会長の茂木貞夫さんの被爆体験談、ドキュメンタリー映画「はだしのゲンが伝えたいこと」、アニメ「夏服の少女たち」の上映などで核兵器廃絶の思いを一つにしました。

また、今年で24回目をおかえた「8・15 平和のつどい」は8月15日に亀城プラザにて、映画「明日へー戦争は罪悪である」を上映。

戦後74年目の夏をむかえ、一連の平和行事を通し、平和の尊さを確認し憲法9条改悪反対、戦争する国づくりを許さないたたかひの決意を新たにしました。

【平和の会へのおさそいを。「平和新聞」購読も広げましょう】

- 幅広い年代からの加入を勧めましょう。ご家族・ご近所・友人・知人などにお声かけ
- 「平和新聞」(毎月5、15、25日発行) 月額400円

